

2 学年進路講演会

10月31日（火）7限目、講師として三宅剛様をお招きして、2学年対象の進路講演会を行いました。2学年は修学旅行を終えて受験生としての切り替えの時期です。三宅先生には、令和の時代をどう生き抜くかをテーマに、社会の変化や変わる入試から、これからの時代で求められる力をどうつけていくのか、日々の学校での学習や自学自習、学習の姿勢の大切さなど、軽快でわかりやすく具体例を交えた講演をしていただき、生徒も受験生としての意識を新たにしていました。



生徒の感想

○ちょうど今勉強で悩んでいたのが、集中力のなさだったので、集中力を高める座り方とか環境の話が聞けたから、今からやってみようって思った。今の勉強は自分に甘すぎるんだなって思ったから、もっと自分に厳しく勉強しようと思う。

○新小学生はまだ頭の柔らかいうちからプログラミングや英語を習うようになる。旧教育システムで育った自分たちが将来、令和生まれの人たちと肩を並べるために、大学で自分をバージョンアップさせる必要があることを実感した。また、自分に合った大学に入るために、基礎基本を固めて、暗記ではなく内容までしっかり押さえることも頑張ろうと思った。「手と頭を使う」ということを意識して、楽しく集中して勉強しようと思った。

○当たり前のことを丁寧に、大切に、徹底的にできるか、それにかかっている。勉強するか。

○ずっと大学に合格さえすればいいと思っていたがこれは令和では通用しないことが分かったので、大学時代を「人生の夏休み」なんて言わずに自分をたくさん磨こうと思った。

○今日の話聴いて、自分には大学を不合格になった人とかなり多くの共通点があったのですごく焦っている。しかし、そのようなことを全て跳ね返していきたいと思った。自分は自分なりにしっかりとやっていきたい。

○私は自分の勉強法に自信がないというか、どう勉強していいかわからない状態で何となく勉強しているという感じだったので、今回の講演はとても参考になりました。ワークは同じ問題を何度も解いても意味がないとは今でも思っています。ですが今回同じ問題を何度も解くのがいいと聞きました。今までは同じ問題を解くことはなかったのですが、一度試してみようと思うようになりました。実際に前まで解けていた問題がわからなくなっていたことがあったので、この方法は有効かもしれないとも思いました。また、やる気がどうしても出ないときがあった時のために志望校とそこでやりたいことはしっかりと決めておこうと思います。

○定期考査前の勉強で覚えるのに苦勞することがあるが、やはり英単語などを毎日きちんと復習を続けていると効果があり、授業で習っただけ、教科書を読んだだけだと覚えられないので、復習は大事だと思った。それに勉強中の環境も一度見直して集中して勉強できるように工夫しようと思う。エビングハウスの忘却曲線が印象に残った。地道に続けることはいざやってみると大変だとわかるが、その地道な努力を大切にしていきたいと思う。限られた時間を有効に使いたい。